

お茶大での交換留学

ケルン大学

ボーデンシュタイン・イマーンヌール

私は2022年10月からお茶の水女子大学に交換留学している。私は高校卒業後、1年間日本に住んでいたが、その時は働いていたので、この4カ月はまったく違う体験だった。日本で働くことと勉強することは全く違うが、どちらも非常に楽しい。以前留学を考えていたときは、関西で勉強したいと思っていた。しかし、ドイツの大学の先輩にお茶の水女子大学の留学経験を聞いて、ぜひここで勉強したいと思うようになった。東京は都会すぎることに加えて、女子大で勉強するのは不慣れなので心配していたが、実際に来てみると心配は必要なかった。

東京は活気のある都市だ。常に様々なことが起きていて、楽しいこともたくさんある。私は大学構内にある音羽館という寮に住んでいる。寮は新しく、とてもきれいだ。大学構内の立地はとても便利だ。近隣は静かで安全であり、東京の他の地域へもすぐに行くことができる。私は池袋のカフェや外食に行くのが好きだ。もともと東京で勉強したいとは思っていなかったが、今では東京での生活にとっても満足している。



また、女子大で勉強することも好きだ。女性同士一緒に勉強するのは、とてもいい経験だ。教室はいつも良い雰囲気、他の学生たちもとても親切だ。8つの授業を自由に選ぶことができる。最初の1週間は、自分の日本語レベルに合った授業を体験することができた。日本語の授業はたくさんあるので、誰でも自分に合った授業を選べる。

大学では面白い文化教室もある。生け花の教室に参加した。2年前に初めて受けた日本語の授業で生け花のこと

を聞いてから、ずっと、生け花をやってみたいと思っていた。着物教室にも参加した。とても楽しかった。着物は非常にきれいだった。また着物を着たい。日本の文化を知れたことに感謝している。先生方はいつも、私たちに日本についてたくさん教えようと努力してくれた。先生方からお土産をいただいたり、刺激的な講義を聞いたり、授業で日本のお菓子を試食させてもらったりした。

この場を借りて、指導教員の阿部先生に感謝申し上げたい。毎月の振り返りシートを確認してくださってありがとうございました。阿部先生の講習は、とても面白く、他の学生の興味深い発表を聞くことができた。私は日本語がまだ上手ではなく、非常に難しかったが、様々な学びがあった。

また、授業の先生方にも感謝したい。授業はいつも興味深かった。例えば、日本語で料理動画を撮影したり、インタビューをしたり、グループワークで発表を準備したりするのは楽しかった。来学期も日本語の上達に努めたいと思う。

また、萩原先生と国際課の方々にもお世話になった。ホームルームではたくさんのごことを学び、たくさん助けていただいた。

そして、寮の皆さんにも感謝している。私がコロナで体調を崩したとき、皆さんとても親切で、たくさん助けていただいた。

お茶の水女子大学のすべての人に感謝し、次の学期にも期待を寄せている。

ありがとうございました。

